

# 進路通信

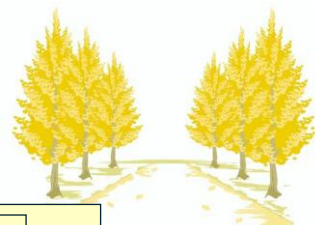
発行：2025 年 11 月  
黄柳野高校進路指導部

## インターンシップが終わり、一時帰省へ…

第 5 期後半、2 週間のインターンシップと特別授業を終え、一時帰省に入りました。普段経験できないような職に関する体験や職員の個性を生かした授業が満載でした。気候の変化も併せて疲れが出ている人もいるかと思います。この一週間しっかりと身体を休めて、2025 年を締めくくりましょう。

さて、6 期早々に 1&2 年生の進路アンケートを実施いたします。まだ、「何も決まっていない!困っている!」という人もたくさんいるかと思いますが、現状を把握するために取り組んでいただきます。是非、進路について、改めて考える機会としてください。

それでは、素晴らしい一時帰省を!



## 学校推薦型、総合型選抜等を利用して進学を考えている方へ

世の中の傾向ですが、大学や専門学校に学校推薦型選抜、総合型選抜(AO)で入学した学生が、一般選抜で入学した者より、退学する率が高いと言われています。昨年度の学園祭においても、私(鈴木)に会って最初の挨拶が「ごめんなさい…」という卒業生がいました。そう、半年待たずして退学してしまったというのです。進学や就職が決定すると、安心したのか、努力をしなくなる生徒が大半で、進学後、「学習についていけない。粘り強く努力する力がない。他の学生と交流が出来ない。」などが危惧されます。折角掴んだ機会を短期間でフイにした生徒は少なくありません。今後、この制度を利用して、進学を考えている人、今年その制度を利用した人は、卒業するまで、学習面そして生活面において、さらに磨きかける必要があることを自覚していただきたいと思います。ある講座の一シーンですが、「講師の話を聞こう」と促したところ、「興味ないから…。大学に入れば興味のあることだから集中できる。」と耳を貸さないことがありました。大学入学後のことなどわからないですし、立場変わって自分が話していて、話を聞かずよそ事をされたら、どう思うのか。卒業までに気づいてくれることを願うばかりです。入学や就職が決まれば良い、というものではなく、その後が大事なのです。



### 3年生の進路の進捗状況(11月5日現在)

四年制大学・・・5名(男5、女0)

観光1、情報3、幼児教育1

専門学校・・・・・・16名(男8、女8)

情報1、服飾1、動物2、調理1、調理1、情報1、CAD1、電気1、エ芸1、  
デザイン1、ウェディング1、幼児教育1、医療1、農業1、芸能1

職業訓練校・・・0名(男0、女0)

就職・・・・・・・1名(男1、女0)

◇学校推薦型選抜制度での受験希望者が多数になっています。

四年制大学	指定校制	11	公募制	4
-------	------	----	-----	---

短期大学部	指定校制	2	公募制	2
-------	------	---	-----	---

専門学校	指定校制	1	公募制	3
------	------	---	-----	---

※学校推薦型選抜制度は、学内選考会が開かれ、評定、出席基準を満たし、  
校長が自信をもって推薦できる生徒か否かを判断し、出願する制度です。

### 黄柳野にいる間に、多くの挑戦を!



黄柳野には、あなたを成長させてくれる機会がたくさんあります。夏祭りや学園祭などの学校行事、オープンキャンパスの生徒スタッフ、ボランティア活動、自己探求や総合的な探究の時間で実施される体験的な学び、そして5期に行われたインターンシップなどが準備されています。座学にはない自分自身を成長させてくれる良い機会であることをあらためて確認していただきたいと思います。

現在の進学、就職を含めて試験の項目には、「面接」「プレゼンテーション」などが採用されています。それらは合否判定する際に大きなウエイトを占めています。

ある学生ですが、エントリーシートにアピールポイントを記載する欄に、「ある市の祇園祭の実行委員に取り組んだこと」「ある青年会議所の50周年記念のライブ開催の学生リーダーに取り組んだこと」をアピールしました。当然、面接時には、そのアピールポイントに関する質問が中心となり、「なぜ、そのボランティアに参加したのか」「ボランティアでは、どんな取り組みをしたのか」「取り組んでみて大変だったこと。

また、それをどのようにして乗り越えたのか」などを聞かれたそうです。その学生は、「大学は志望校に行けなかったけど 4 年間で満喫する」「そのイベントを仲間とともに必ず成功させてみせる」「イベントを主催する大人に積極的に関わって多くのことを吸収したい」という気持ちで臨んだため、アピールする引き出しが増して、「アピールすることについては苦にならなかった。」とのことでした。その後、内定者親睦会で内定の決め手は、「多くの経験とその取り組み姿勢を評価した。」と伝えてくれたそうです。進路を獲得するために、「多くの経験や挑戦」したほうが良いとは言いません。ただ、「多くの経験や挑戦」は、あなたの引き出しを増やし、自信につながります。

生徒のみなさん、黄柳野での生活は、たった 3 年間ですが、あなた自身を強く成長させてくれる機会がたくさんあります。是非、授業、部活動や委員会、ボランティア、行事等の実行委員等に取り組んで多くの経験を積み、学校生活を有意義なものにいきましょう。このような機会を回避する人が目立ちますが、あなたを成長させるチャンスなのです！

## 24 時間学校の強みをいかそう！

みなさんは普段寮でどのように過ごしていますか？進路に関して言えば、あえて寮では勉強しない（寮はくつろぐ場所）という人もいます。オンオフをはっきりさせることは大事ですので、もちろんその考え方もありだと思います。許可を得て点呼過ぎの校舎棟で「夜間学習」をしている人たちもいます。一方、落ち着けるからと寮の自室で勉強する人たちもいます。場所はどこであれ、自分のスイッチが入る環境を持つことはとても大切です。

夜の時間帯では、自分の進路に向けた学習をする生徒はもちろんのこと、基礎学習に取り組む人もいます。教材は自分で用意したりスタッフに相談したりして、今の自分に合ったものを選ぶことも必要です。せっかくの 24 時間学校の強みをいかして、寮の時間も有意義に使っていきましょう。



## 2年生のみなさんへ

いよいよ高校生活も折り返し地点を過ぎました。2 年生は「自分の進路を具体的に考える時期」です。この 5 期は全校でのインターンシップもありました。生徒の皆さんは充実した体験ができましたか？未実施の生徒は、12 月と 3 月にも行われますので、ぜひ参加してください。

また、普段の個別面談で話をする中では、進学希望の生徒は模擬試験の受験やオープンキャンパスへの参加、資料請求など、就職希望の生徒はアルバイトへの挑戦など、動き出している生徒もいます。将来の夢がはっきりしている人も、まだ迷っている生徒も、「知ること」から始めていきましょう。

★進路選択が漠然としている人は、次のポイントで考えてみましょう！

①自分の「好き」「得意」から考える

→科目・活動・趣味から将来の方向性を探る。

②職業・学問を調べる

→どのような学部で何を学ぶのか、仕事の内容・やりがい調べる。

③現実的な条件も整理する

→学費、通学距離、入試方式（推薦・総合型・一般）など。

進路選択が具体的になってきている生徒は、上記③をご家族とも話し合って詰めていくと良いかもしれません。進路を考えることは、自分を知ることです。小さな一歩でもよいので、一時帰省中に「進路サイトを見る」「パンフを請求する」など、何か行動してみましょう！

#### 一時帰省中の進路相談

進路相談は、担任が基本となりますが、進路指導部でも対応させていただきます。

〔学校の電話番号〕 0536-34-0330

〔進路指導部メール〕 [shinro@tsugeno.ac.jp](mailto:shinro@tsugeno.ac.jp)

〔進路指導部員〕 部長：鈴木、1年：渡邊、2年：塩野谷、寮：手嶋

